

取扱説明書・施工説明書

地上デジタルIP受信器

Model HOM770IP

目次

表紙	説明の始まるページ
〔取扱説明書〕	
取扱い上の注意	1
メンテナンス	1
外観および寸法図	1
安全上の注意	2
廃棄上の注意	2
運用上の注意	3
特長	3
付属品	3
各部名称および機能	4
標準性能表	5
〔施工説明書〕	
設置場所・条件	7
同軸ケーブルの加工方法とF型接栓の取付方法	7
LANの接続	8
本器の設定方法	10
使用上の注意	26
工場出荷時設定一覧	27

このたびは、日本アンテナ製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。工事の際には施工説明書に従って施工をおこなってください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。また、正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「安全上の注意」をごらんください。

取扱説明書

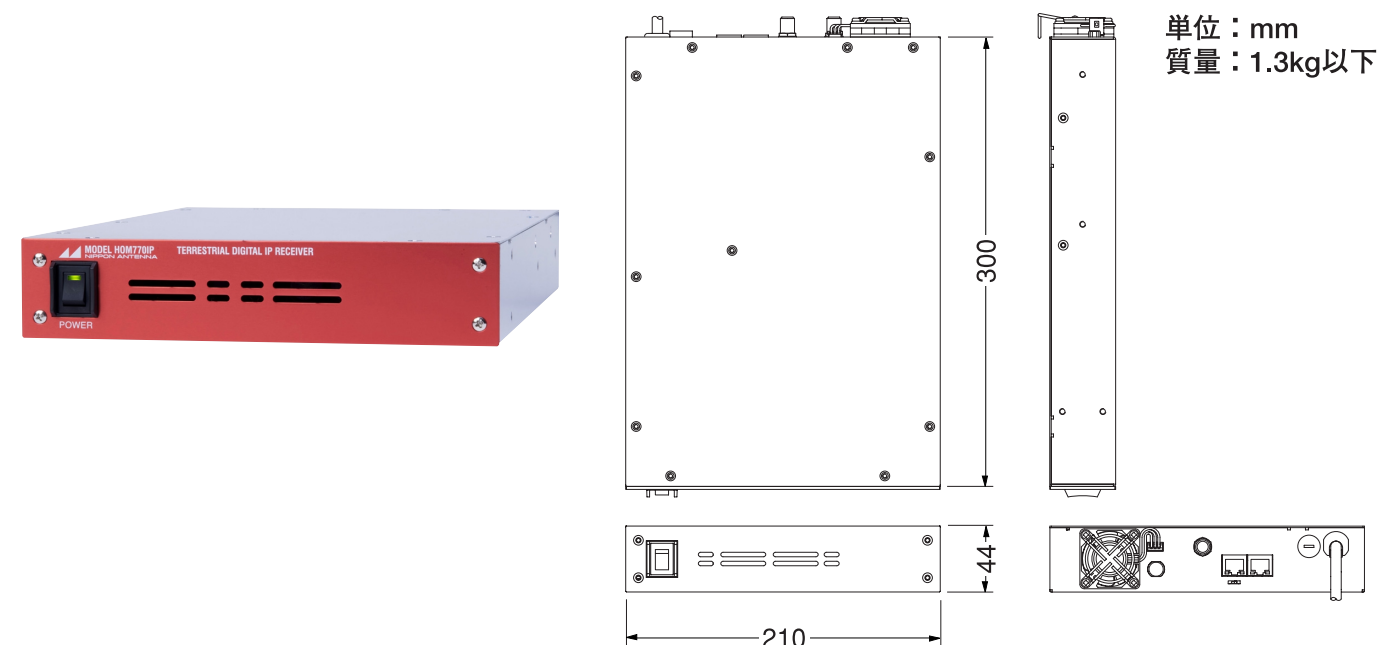
取扱い上の注意

取付工事は、専門の施工業者にご依頼ください。

メンテナンス

いつでも美しいテレビ映像をお楽しみいただくために、年に1回は専門業者に保守・点検をご依頼ください。

外観および寸法図



お客様窓口 0570-091039 ナビダイヤルが利用できない場合は ☎(03)3893-5243
ご利用時間 9:00～12:00 13:00～17:30 (土・日・祝祭日・弊社休業日を除く)

日本アンテナ株式会社

本社／〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8 ☎(03)3893-5221 (大代)
(ホームページアドレス) <http://www.nippon-antenna.co.jp/>

※製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。
5106113 平成28年11月

安全上の注意

絵表示について この「安全上の注意」、「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになるかたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
	警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
絵表示の例		
		△記号は注意（注意・警告・危険を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。
		○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
		●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。）が描かれています。



警告

●ぐらついた台の上や、傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



●表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



●本器に水が入ったり、本器の内部がぬれたりしないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。



水ぬれ禁止

●電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり（熱器具に近づけたり）引っぱったりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのままご使用になると火災・感電の原因となります。



●万一、本器を落としたり、破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



●本器の内部パネルをはずしたり、本器を改造したりしないでください。また、本器の内部には触れないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止

●万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



●万一、異物が本器の内部に入った場合は、まず、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。





注意

●本器の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。また、本器が変形し、火災・感電の原因となることがあります。



●直射日光の当たる所、温室やサンルームなどの温度や湿度の高いところに置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



●湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所（調理台や加湿器のそば）に置かないでください。また、振動のある場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



●電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っばるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



廃棄上の注意

本器のすべて、または部品を廃棄する場合には、自治体の定めた条例にしたがって処理してください。

工場出荷時設定一覧表

項 目		デフォルト値
TS over IP Rx ネットワーク設定	機 能	ON
	IPアドレス	192.168.10.101
	ネットマスク	255.255.255.0
	デフォルトゲートウェイ	192.168.10.1
	Firewall	UDPポート
TS over IP Rx 送信元設定	送信元IPアドレス	192.168.10.100
	受信UDPポート	1234
OFDM変調器 基本設定	状 態	有 効
OFDM変調器 RF設定	出力チャンネル	UHF-27
	出力ゲイン	100
システム ユニット設定	IPアドレス	192.168.1.101
	ネットマスク	255.255.255.0
	ゲートウェイ	192.168.1.1
	NTPサーバー	192.168.1.10
システム 日時設定	時刻設定方法	NTPサーバー
	日時設定	起動時に自動で入力されます
	時刻設定	起動時に自動で入力されます
	更新間隔	3600

2

27

使用上の注意

1. 本器の前面FAN吸気口は、通風および放熱のために設けております。本器動作中にFAN吸気口を塞いだり覆ったりしないようご注意ください。また、FAN吸気口がゴミや埃などにより塞がっている場合は、掃除機などにより清掃してください。
2. FANが停止または回転量が低下している際は、FANの交換が必要となりますので最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。
3. 本器に使用しているFANモーターには、可動部を含むため寿命があります。購入後5年程度を目安に交換をお願いします。FAN交換については最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。
4. 本器の電源AC100Vは、アースの設置された環境で使用してください。
5. 機器の設置は高温多湿を避け、最適な場所をお選びください。
6. 機器の設定やファイルのダウンロード・アップロードをおこなっている最中に本器の電源を切ると、設定データやファイルが正しく保存されず、壊れる可能性があります。本器の電源を切る際は、機器の設定やファイルのダウンロード・アップロードが完了していることを確認してからおこなってください。
7. 設定完了後は、必ずファイルのダウンロードをおこない、バックアップを保存してください。
8. 本器を既存のネットワークに接続する際は、接続するネットワークに合わせた設定が必要となります。ネットワーク設定についてはお使いになるネットワークの管理者へお問い合わせください。

運用上の注意

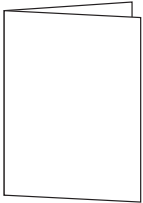
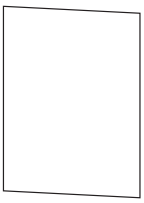
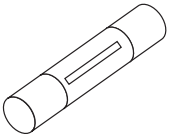
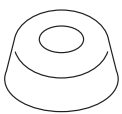
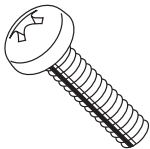
再放送の実施には、「放送法」などに基づいた放送事業者からの再放送を同意する行政手続き、および「著作権法」で定められた「放送事業者が占有する有線放送権」の「無償許諾」が必要となる場合がありますので、各放送局などから再放送同意を得たうえで運用してください。

特 長

1. 本器は、Ethernet(10/100/1000Base)からRTPパケット形式のTS over IPを受信し、地上デジタルテレビジョン放送信号を出力します。
2. 館内向け自主放送システムをIPで伝送することで、遠隔地における自主放送システムを構築できます。
3. 受信した地デジ信号は、番組サービスID、データ放送、TMCC情報、NIT/SI情報(EPG)、放送識別端子B-CASスクランブルなどに対応可能です。
4. 出力信号は地デジOFDM信号(90～770MHz)で設定することが可能です。
5. IEEE802.3準拠、RTP送信、CBR伝送、ユニキャスト/マルチキャスト対応です。
6. Pro-MPEG COP#3準拠のFECに対応しておりますのでパケットロスを軽減できます。
7. NTPサーバーからの時刻データ取得を選択して時刻情報を補正することが可能です。
8. LAN端子(10BASE-T/100BASE-TX)よりPCに接続し、WEBブラウザを使用して機器設定をおこないます。
9. 1Uハーフラックサイズの小型設計です。
10. 別売オプションにラック取付金具(1台取付用：HOM-RS1/2台取付用：HOM-RS2)を用意しております。

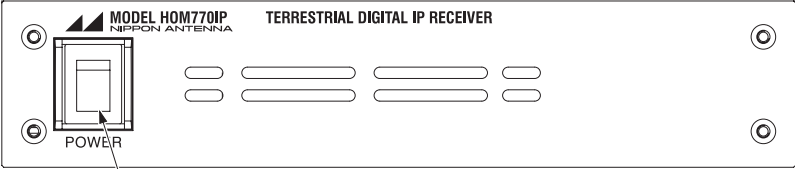
付属品

●お取り付けの前に下図の部品が間違いなく入っているか、ご確認ください。

取扱説明書	試験成績書	予備ヒューズ	ゴム足	ゴム足用ねじ
				
1部	1部	1個	4個	4個

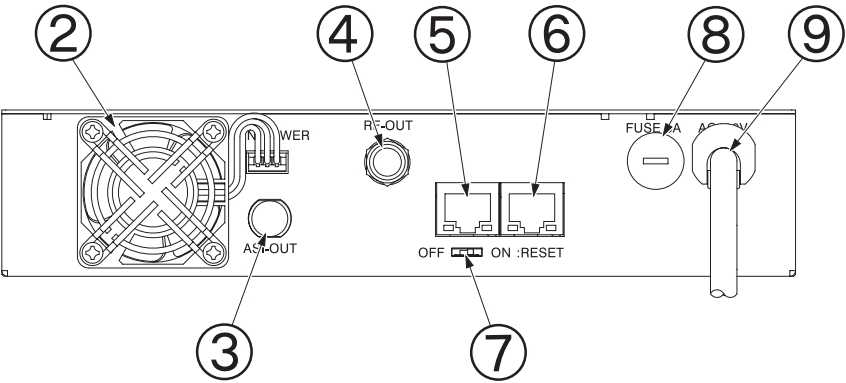
各部の名称および機能

前面



①

背面



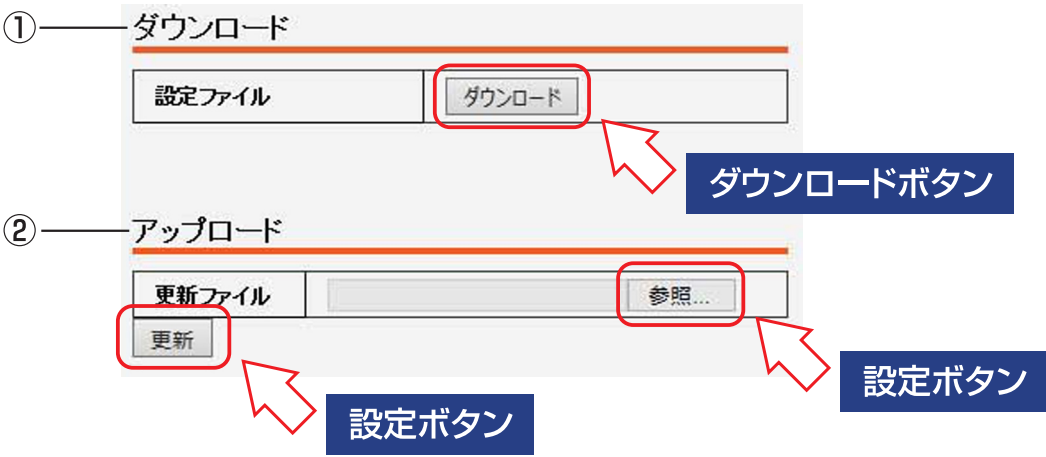
①	電源スイッチ	本器の電源の入／切をおこないます。
②	FAN	本器冷却用のFANです。
③	ASI出力端子	ASI出力端子です。ASI信号を出力します。
④	RF出力端子	RF出力端子です。RF信号を出力します。
⑤	制御LAN端子	10BASE-T/100BASE-TXネットワーク接続端子です。LANを経由してPCと接続します。
⑥	TSolP入力端子	TSolP入力端子です。TSパケットを入力します。
⑦	初期化スイッチ	電源起動時にIPアドレスを初期化することができます。 左：通常動作。設定されたIPアドレスで起動します。 右：初期化。IPアドレスが192.168.1.101の状態での起動します。 ※初期化後は必ずスイッチを左側へ戻してください。
⑧	ヒューズ (定格5A)	ヒューズが溶断した場合は、原因を取り除いてから予備ヒューズと交換してください。
⑨	AC100V	ACコードからAC100V電源を給電します。

**注意**

- 必ず指定されたヒューズ(タイムラグヒューズ)をご使用ください。指定外品のご使用は故障の原因となります。
- 排気口がふさがることのないようにご使用ください。機器故障の原因となります。

●設定ファイルの入力・出力について

システム設定欄の設定メニューで「ファイル」の項目を選択すると設定表示部に下図のように設定ファイルのダウンロード/アップロード用画面表示されます。ファイルダウンロードで本器の設定情報をPC内に保存したり、ファイルアップロードでPC内に保存した設定ファイルを読み込んで本器に反映させることができます。



①ファイルダウンロード

本器から設定情報を読み出し、設定ファイルを保存します。
ダウンロードボタンを押して参照画面を開き、現在の設定ファイルを保存してください。

※設定ファイルの生成中には本器の電源を切らないようにしてください。設定ファイルが生成できません。

②ファイルアップロード

PCから設定ファイルを本器にアップロードします。
参照ボタンを押してファイル選択画面を開き、アップロード用のファイルを選択してください。
更新ボタンを押すと選択した設定ファイルがアップロードされ、設定が反映されます。

※設定ファイルの更新中には本器の電源を切らないようにしてください。設定ファイルが正しく本器に書き込まれない恐れがあります。

●リセットについて

システム設定欄の設定メニューで「リセット」の項目を選択すると設定表示部にリセット画面が表示されます。
リセットボタンを押すと、本器の再起動をおこないます。再起動には約30秒必要です。
設定した項目はそのままの値でシステムが再起動します。

●システムログについて

履歴ファイル欄の設定メニューで「システムログ」の項目を選択すると、本器の動作状況、設定変更、エラーなどの情報を閲覧することができます。動作状況や設定の確認、エラー内容の確認にお使いください。

●過去ログについて

履歴ファイル欄の設定メニューで「過去ログ」の項目を選択すると、ログの一覧が表示されます。

①MACアドレス

MACを表示します。

②IPアドレス

IPアドレスを入力し、ネットワーク設定ボタンを押してください。

③ネットマスク

サブネットマスクを入力し、ネットワーク設定ボタンを押してください。

④ゲートウェイ

デフォルトゲートウェイを入力し、ネットワーク設定ボタンを押してください。

⑤NTPサーバ

NTPサーバのIPアドレスを入力し、ネットワーク設定ボタンを押してください。

⑥時刻設定方法

「手 動 設 定」：手動で入力して設定します。

「NTPサーバ」：NTPサーバから日時を取得します。

⑦日付設定

時刻設定方法で「手動設定」が選択されている際の年月日を設定します。

年月日を入力し、日時設定ボタンを押してください。

⑧時刻設定

時刻設定方法で「手動設定」が選択されている際の時分秒を設定します。

時分秒を入力し、日時設定ボタンを押してください。

⑨更新間隔

時刻設定方法で「NTPサーバ」が選択されている際のNTPサーバから取得する更新間隔を設定します。

3600～86400秒(24時間)の間で入力し、日時設定ボタンを押してください。

⑩バージョン

本器のバージョン情報を表示します。

⑪管理

「工場出荷設定の実行」を選択すると本器を工場出荷時の設定に戻します

標準性能表

項 目		標 準 性 能	備 考
RF出力	出 力 信 号	地上デジタルテレビジョン放送信号	
	送 信 チ ャ ン ネ ル	VHF、UHF、CATVの内、任意の1ch	90～770MHz
	出 力 レ ベ ル (dBμV)	80～110	75Ω F型
ASI出力	信 号	MPEG-2トランスポートストリーム	
	出力インターフェイス	DVB-ASI準拠	75Ω BNC (メス)
IP TS入力	通信インターフェイス	IEEE802.3／イーサネット準拠	100BASE-TX
	プ ロ ト コ ル	RTP/UDP、TS over IP	RJ-45
	F E C	Pro-MPEG COP#3対応	
制御インターフェイス	通信インターフェイス	IEEE802.3／イーサネット準拠	10BASE-T 100BASE-TX
	プ ロ ト コ ル	TCP/IP UDP/IP	RJ-45
耐 雷 性 (kV)		15 (1.5/50μs)	電源端子
電 源 電 圧 (V)		AC100V 50／60Hz	±10%
消 費 電 力 (W)		25以下	
使 用 温 度 範 囲 (℃)		0～+40	本体周囲温度
外 形 寸 法 (mm)		210 (W)×44 (H)×300 (D)	突起物は含まず
質 量 (kg)		1.3以下	

●ユニット設定について

システム設定欄の設定メニューで「ユニット設定」の項目を選択すると設定表示部に下図のように表示されます。各種設定をおこなってください。

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

⑪

ネットワーク設定

MACアドレス	00:50:C2:9C:C6:D8
IPアドレス	192.168.1.101
ネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.1.1
NTPサーバー	192.168.1.10

ネットワーク設定

ネットワーク設定ボタン

日時設定

時刻設定方法	NTPサーバー
日付設定 YYYY/MM/DD	2016/11/11
時刻設定 HH:MM:SS	14:28:12
更新間隔 3600~86400	3600 秒

日時設定

日時設定ボタン

バージョン情報

System	01020061
M/B基板	05040116
拡張機能：OFDM変調器	03020203
Web画面	0100033F

管理

工場出荷設定	工場出荷設定の実行
--------	-----------

※設定を変更した際は、必ず設定ボタンを押して設定を更新してください。設定の更新には数秒かかります。更新中には本器の電源を切らないようにしてください。設定が正しく更新されない恐れがあります。

※インターネット経由で使用する際は、PCなどご使用中のネットワーク環境の設定変更も必要となりますのでご注意ください。

●OFDM変調器の基本ステータスについて

選択機能より「OFDM変調器」を選択し、設定メニューで「基本ステータス」の項目を選択すると設定表示部に下図のように表示されます。変調器の設定・動作状態の確認などにお使いください。ステータスは自動で更新がおこなわれます。

OFDMステータス		
①	動作状態	起動
②	エラー情報	正常

Ver.03020203

①動作状態

変調器の動作が有効か無効かを表示します。

②エラー情報

変調器の動作が正常か異常かを表示します。

施工説明書

設置場所・条件

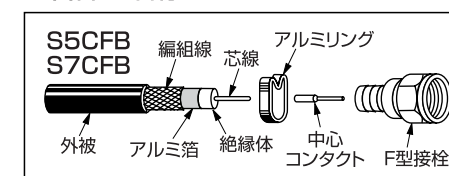
- 高温（40℃以上）の場所、直射日光にあたる場所、有害ガスなどの発生する場所はさけてください。
- 電気配線、配線工作物の近くや、強い電磁波を受ける場所をさけてください。
- メンテナンスに容易な場所を選定してください。

同軸ケーブルの加工方法とF型接栓の取付方法（別売品）

◆用意するもの

カッターまたはナイフ、ハサミまたはニッパー、ペンチ、圧着工具。

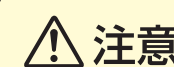
■各部の名称



ポイント

- 絶縁体をカットするときは芯線をキズつけないように注意し、芯線が編組線とアルミ箔に接触していないかをご確認ください。
- 芯線に付着物がないか確認し、付着物がある場合には、きれいにとってください。
- 同軸ケーブルを取換える場合は、以前使用していた同軸ケーブルと芯線の外径が同じ同軸ケーブルをご使用ください。

●F型接栓締付トルク 2.0N・m（約20kgf・cm）



注意

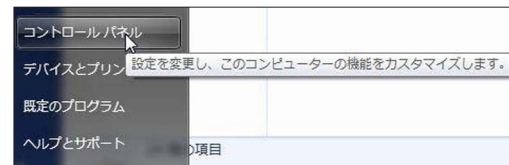
加工の際、切りくずの扱いや工具の使用には十分注意してください。思わぬケガの原因になります。

- ① カッター、ナイフなどで点線の部分をカットします。（深さ1mm程度）
- ② 外被をむき、アルミリングを通しておきます。
- ③ 外被から2mm程度はなして編組線をていねいに切り落としてください。
- ④ 編組線をめくり返します。
- ⑤ 編組線から2mmはなしてアルミ箔、絶縁体を切り、抜きとります。
- ⑥ 芯線を4～4.5mmにカットし、中心コンタクトを芯線に根元まで挿入してペンチ、圧着工具などで中心コンタクトが抜けないうようカシメます。
- ⑦ F型接栓をアルミ箔と編組線の間に挿入し、アルミリングをペンチなどでつまんでしっかりつぶしてください。

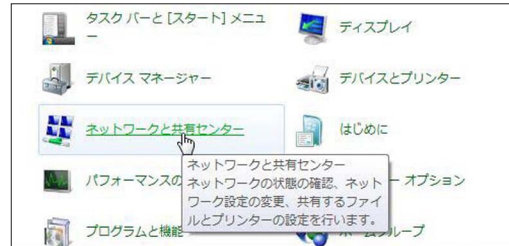
LANの接続

①PC側のIPアドレスを設定します。

1. [スタート] ボタンを押し、[コントロールパネル] を左クリックします。



2. [ネットワークと共有センター] を左クリックします。



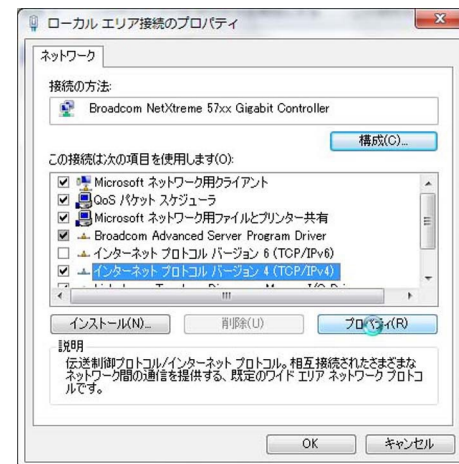
3. 左側にある[アダプターの設定の変更]を左クリックします。



4. [ローカルエリア接続]にカーソルを合わせて右クリックします。
表示メニューから[プロパティ]を選び、左クリックしてください。



5. [インターネットプロトコル バージョン4 (TCP/IPv4)]にカーソルを合わせ、その下の[プロパティ]ボタンを左クリックしてください。



●OFDM変調器の基本設定について

選択機能より「OFDM変調器」を選択し、設定メニューで「基本設定」の項目を選択すると設定表示部に下図のように表示されます。各種設定をおこなってください。

OFDM 基本設定	
① 状態	有効 ▼
② OFDMモード	13セグモード
③ クロック選択	内部クロック
設定	

Ver.03020203

設定ボタン

①状態

変調器動作の有効・無効を選択し、設定ボタンを押して決定してください。

②OFDMモード

マルチプレクサに入力されているTS情報により自動的に設定されます。
(1+12セグメント or 13セグメント)

③クロック選択

内部クロック(固定)です。

●OFDM変調器のRF設定について

選択機能より「OFDM変調器」を選択し、設定メニューで「RF設定」の項目を選択すると設定表示部に下図のように表示されます。各種設定をおこなってください。

RF設定	
① 出力チャンネル	UHF-27 (557MHz) ▼
② 出力ゲイン(レベル)	100 dBμV 80.0 ~ 110.0dBμV
設定	

Ver.03020203

設定ボタン

①出力チャンネル

VHF、UHF、CATVの各チャンネルを選択し、設定ボタンを押して決定してください。

②出力ゲイン (レベル)

80.0～110.0dBμVの範囲で入力し、設定ボタンを押して決定してください。

※設定を変更した際は、必ず設定ボタンを押して設定を更新してください。設定の更新には数秒かかります。
更新中には本器の電源を切らないようにしてください。設定が正しく更新されない恐れがあります。

⑨パケット蓄積時間

パケットの蓄積時間を表示します。

⑩受信バッファ

受信バッファの正常・異常を表示します。

⑪Miss Packet

Miss Packet数を表示します。

⑫FEC Recover

FECで修正したパケット数を表示します。

6. [次のIPアドレスを使う]のボタンを左クリックし、その下のIP
アドレス・サブネットマスク・デフォルトゲートウェイを入力
します。

- [IPアドレス] 欄にはこのPCで使用するIPアドレスを入力します。
192. 168. 1. ×× (××は1～254で100以外の任意の数)
を入力してください。
- [サブネットマスク] 欄には255. 255. 255. 0を入力してくだ
さい。
- [デフォルトゲートウェイ] 欄は初期設定では空白で構いません。

ポイント

- 本器のIPアドレスの初期設定は192. 168. 1. 101です。

全ての値を入力したら、画面下の [OK] ボタンを左クリックします。
これでPCの設定は完了です。

②本器とPCをLANケーブルで接続します。

PCと接続する場合はストレートケーブルをご使用ください。

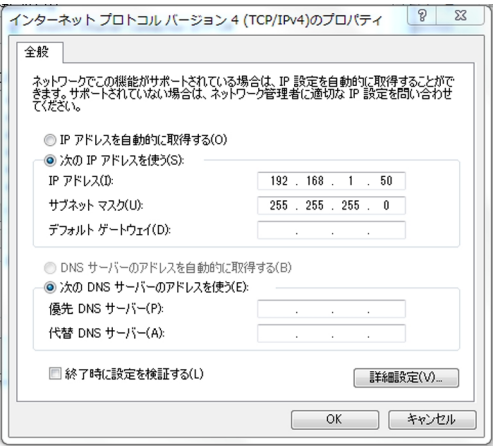
③WEBブラウザを立ち上げてアドレスバーにhttp://192. 168. 1. 101/と入力してくだ
さい。

本器はHTML Ver4.0以上対応のブラウザであれば、どのブラウザでも設定可能です。
推奨ブラウザはInternet Explorer/Firefoxです。

例：Internet Explorer

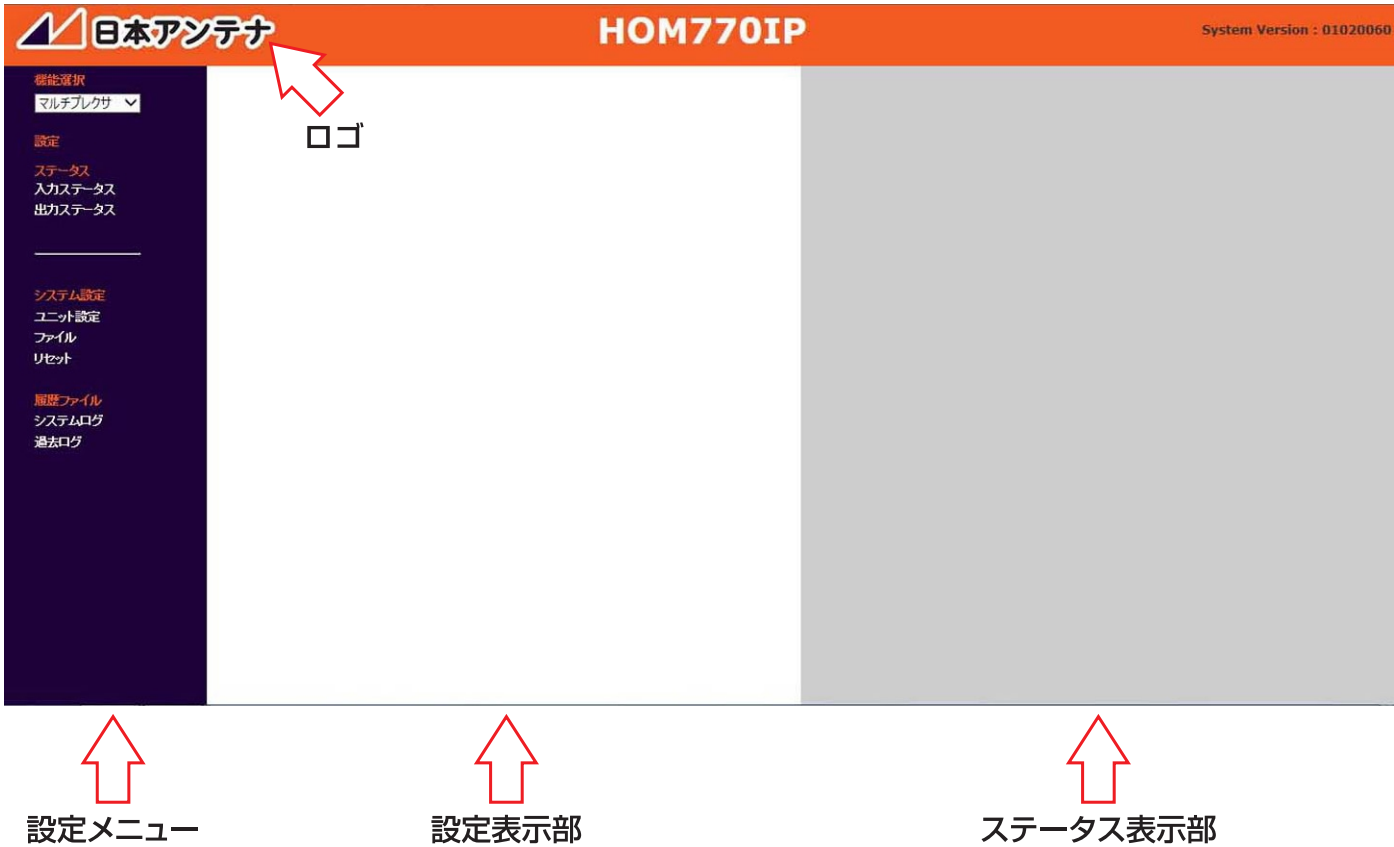


④WEBブラウザにメインメニューが表示されます。



本器の設定方法

本器のメインメニューは下図のように設定メニュー、設定表示部、ステータス表示部で構成されています。
また、左上のロゴを選択すると弊社ホームページへアクセスできます。



- 設定メニュー……………設定・表示したい項目を選択します。
- 設定表示部……………設定メニューで選択した項目の設定画面を表示します。
- ステータス表示部……………設定メニューで選択した項目のステータス画面を表示します。

●TS over IP Rxの送信元ステータスについて

選択機能より「TS over IP Rx」を選択し、ステータスメニューで「送信元」の項目を選択するとステータス表示部に下図のように表示されます。送信元の設定・動作状態の確認などにお使いください。ステータスは自動で更新がおこなわれます。

ストリーム 1 詳細情報		
①	IP入力	受信中
②	送信元IPアドレス	192.168.10.100
③	UDPポート	1234
④	TSパケットサイズ	188
⑤	1IPパケット内のTSパケット数	5
⑥	FEC(L)	0
⑦	FEC(D)	0
⑧	TSビットレート	18.000 Mbps
⑨	パケット蓄積時間	99.4 ms / 100 ms
⑩	受信バッファ	正常
⑪	MissPacket	0
⑫	FEC Recover	1
戻る		
Ver.05040116		

- ①IP入力
受信中、受信なしのいずれかを表示します。
- ②送信元IPアドレス
送信元のIPアドレス設定値を表示します。
- ③UDPポート
UDPポートの設定値を表示します。
- ④TSパケットサイズ
TSパケットのサイズを表示します。
- ⑤1IPパケット内のTSパケット数
1IPパケット内のTSパケット数を表示します。
- ⑥FEC (ROW)
FEC (横軸) の状態を表示します。有効値は4～20です。
- ⑦FEC (COLUMN)
FEC (縦軸) の状態を表示します。有効値は1～20です。
- ⑧TSビットレート
TSのビットレートを表示します。

⑥GW IPアドレス

本器のデフォルトゲートウェイを表示します。

⑦Firewall

Firewallの状態を表示します。

⑧状態

受信、未受信のいずれかを表示します。

⑨受信ビットレート

受信ビットレートを表示します。

⑩受信バッファ

送信バッファの正常・異常を表示します。

⑪IP受信

受信、未受信のいずれかを表示します。

⑫受信ビットレート

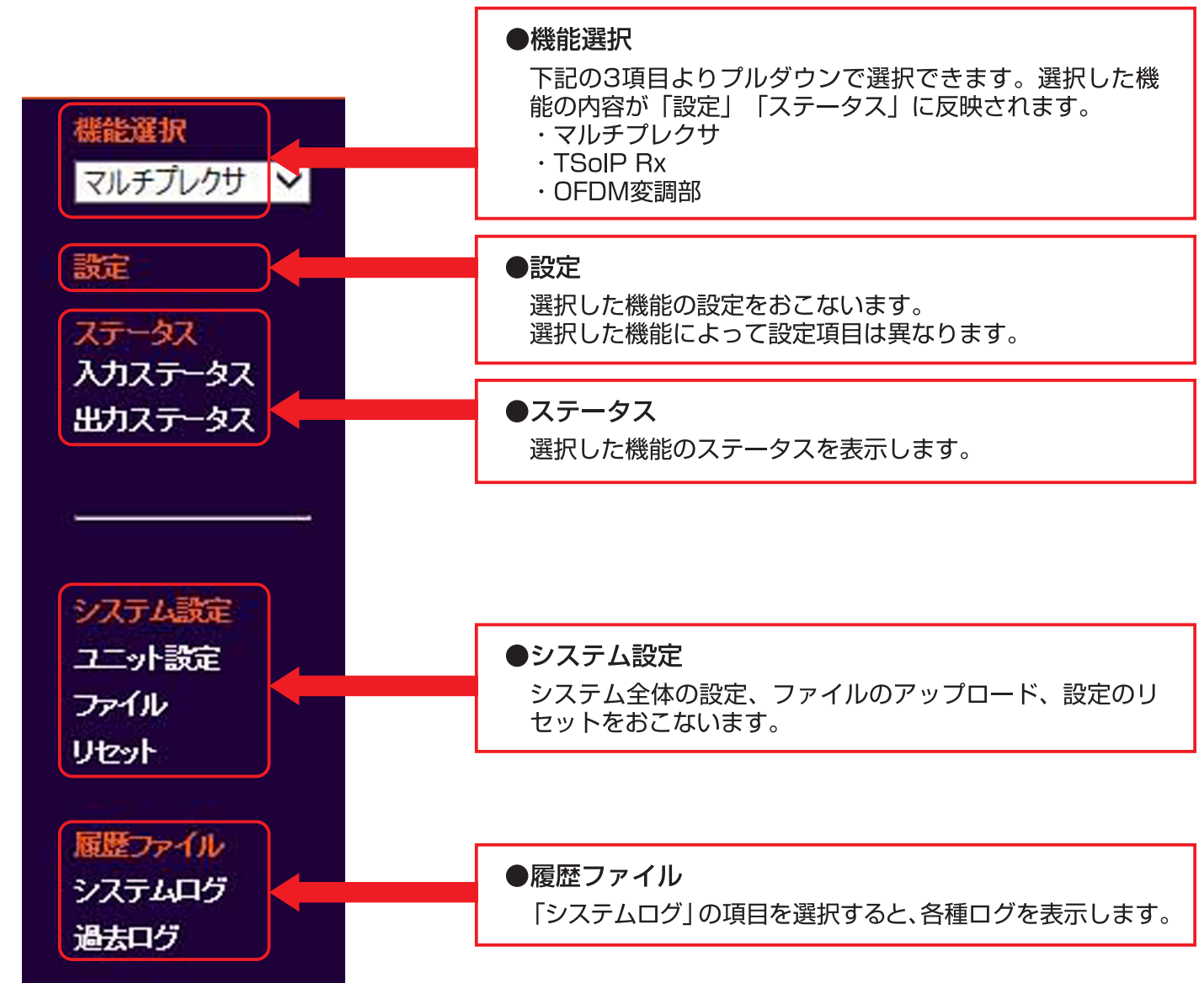
IP受信ビットレートを表示します。

⑬詳細

選択すると詳細画面を表示します。

●設定メニューについて

設定メニューでは、設定表示部とステータス表示部に表示する項目の選択をおこないます。
下図にて各選択項目について説明します。



本器は電源を入れて約60秒で起動します。起動するまでお待ちください。起動後にブラウザを更新すると上記の設定メニューが表示されます。

●マルチプレクサの入力ステータスについて

選択機能より「マルチプレクサ」を選択し、ステータスメニューで「入力ステータス」の項目を選択すると設定表示部に下図のように表示されます。設定・動作状態の確認などにお使いください。ステータスは自動で更新がおこなわれます。

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

マルチプレクサ 入力ステータス

PIDフィルター	有効
入力信号	信号有り
パケットサイズ	188

入力TSレート	18Mbps	
固定受信 フィルター後有効 データレート	15.566Mbps	

取得PID

0000	0010	0011	0012	0014	0023	0024	0028
0060	0061	0070	0100	0110	01F0	01FF	02F0
03F0	0511	0512	0612	0613			

TS 解析

サービスID	サービス名	詳細
1088 (0x0440)	放送大学1	表示
1089 (0x0441)	放送大学2	表示
1090 (0x0442)	放送大学3	表示

Ver.05040116

①PIDフィルタ

「有効」：PIDフィルタ有効(固定値)です。

②入力信号

「信号有り」：入力信号があります。
「信号無し」：入力信号がありません。

③パケットサイズ

TS1パケット当たりのパケットサイズを表示します。

④入力TSレート

入力中の全TSモードを表示します。

⑤フィルター後有効データレート

フィルターを通過したTSのレートを表示します。

⑥取得PID

入力されているTSに含まれるPIDを表示します。

⑦TS解析

現在受信中のサービスID、サービス名、詳細(サービス毎のエレメンタリーPID)を表示します。

●TS over IP Rxのネットワークステータスについて

選択機能より「TSolP Rx」を選択し、ステータスメニューで「ネットワークステータス」の項目を選択するとステータス表示部に下図のように表示されます。ネットワークの設定・動作状態の確認などにお使いください。ステータスは自動で更新がおこなわれます。

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

TS over IP Rxステータス

設定値

機能	ON
ケーブル接続状態	1000BASE - Full
MACアドレス	00:50:C2:9C:C6:D9
IPアドレス	192.168.10.101
ネットマスク	255.255.255.0
GW IPアドレス	192.168.10.1
Firewall	UDP Port

全IPパケット 受信状態

状態	受信
受信ビットレート range : 0 - 100 Mbps	
受信バッファ	正常

送信元

#	IP受信	TSビットレート	詳細
1	受信	18.000 Mbps	

Ver.05040116

①機能

IP出力の「ON」「OFF」を表示します。

②ケーブル接続状態

接続されているケーブルの状態を表示します。

③MACアドレス

本器のMACアドレスを表示します。

④IPアドレス

本器TSolP端子の受信IPアドレスを表示します。

⑤ネットマスク

本器のネットワークマスクを表示します。

●設定可能な遅延時間について

選設定可能な最大遅延時間はビットレートにより異なります。下の表を参照し、これらの値を超えない範囲で設定してください。

1. ビットレート-最大遅延時間（TS-188バイトの場合）

設定可能な最大遅延時間 = 4096×188×8×（TSパケット/IPフレーム）÷Bitrate

	TSパケット/IPフレーム						
Bitrate (Mbps)	1	2	3	4	5	6	7
1	6160	12321	18481	24642	30802	36962	43123
5	1232	2464	3696	4928	6160	7392	8625
10	616	1232	1848	2464	3080	3696	4312
15	411	821	1232	1643	2053	2464	2875
20	308	616	924	1239	1540	1848	2156
25	246	493	739	986	1232	1478	1725
30	205	411	616	821	1027	1232	1437
40	154	308	462	616	770	924	1078
50	123	246	370	493	616	739	862
100	62	123	185	246	308	370	431
150	41	82	123	164	205	246	287
200	31	62	92	123	154	185	216

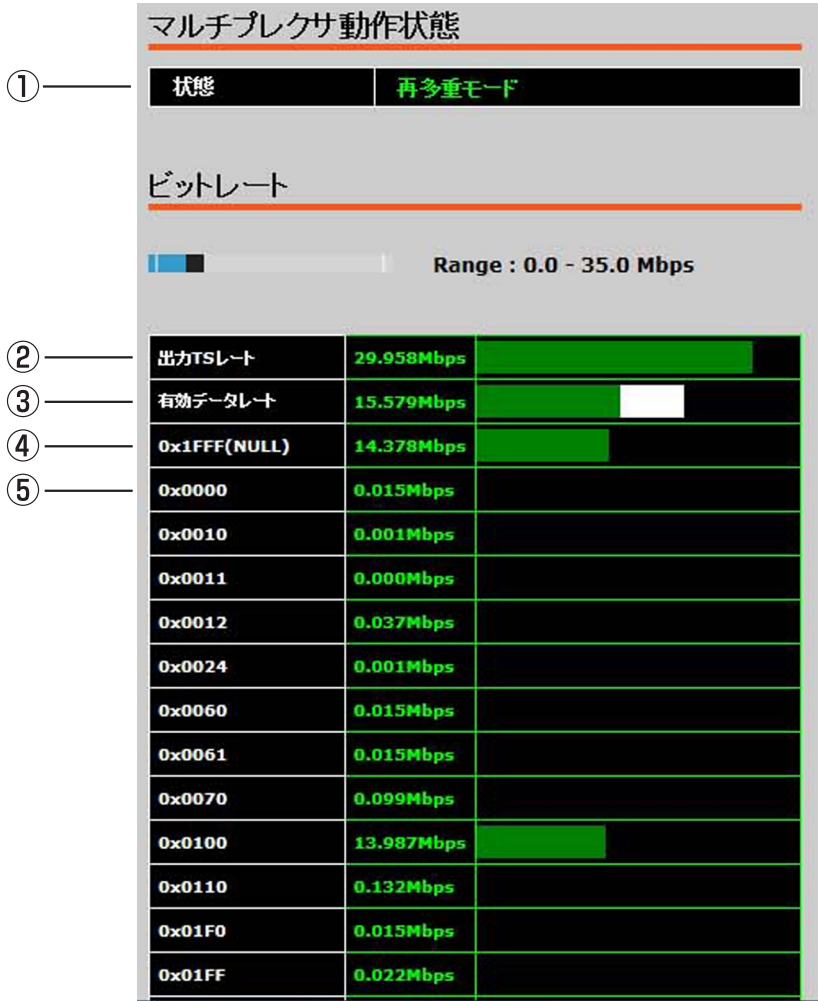
2. ビットレート-最大遅延時間（TS-204バイトの場合）

設定可能な最大遅延時間 = 4096×204×8×（TSパケット/IPフレーム）÷Bitrate

	TSパケット/IPフレーム						
Bitrate (Mbps)	1	2	3	4	5	6	7
1	6685	13369	20054	26739	33423	40108	46793
5	1337	2674	4011	5348	6685	8022	9359
10	668	1337	2005	2674	3342	4011	4679
15	446	891	1337	1783	2228	2674	3120
20	334	668	1003	1337	1671	2005	2340
25	267	535	802	1070	1337	1604	1872
30	223	446	668	891	1114	1337	1560
40	167	334	501	668	836	1003	1170
50	134	267	401	535	668	802	936
100	67	134	201	267	334	401	468
150	45	89	134	178	223	267	312
200	33	67	100	134	167	201	234

●マルチプレクサの出力ステータスについて

選択機能より「マルチプレクサ」を選択し、ステータスメニューで「出力ステータス」の項目を選択すると設定表示部に下図のように表示されます。設定・動作状態の確認などにお使いください。ステータスは自動で更新がおこなわれます。



①状態

再多重モード(固定値)です。

②出力TSレート

出力している全TSのレートを表示します。

③有効データレート

緑色部分：設定しているOFDMモードのうち、出力TSレートとNULLを比較して実際に有効になっているレートを表示します。

白色部分：設定しているOFDMモードのうち、出力できる最大レートの規定値を表示します。

④0x1FFF (NULL)

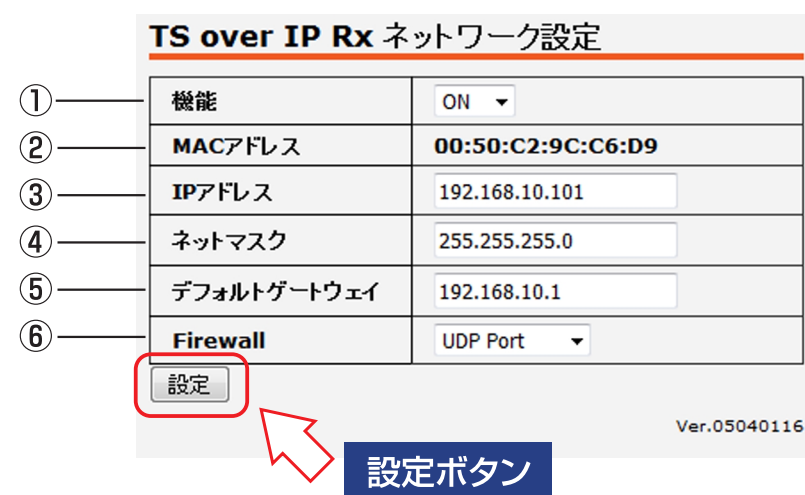
NULLパケットのレートを表示します。

⑤それ以下

PIDごとの出力TSレートを表示します。

●TS over IP Rxのネットワーク設定について

選択機能より「TSolP Rx」を選択し、設定メニューで「ネットワーク設定」の項目を選択すると設定表示部に下図のように表示されます。各種設定をおこなってください。



TS over IP Rx ネットワーク設定	
① 機能	ON ▼
② MACアドレス	00:50:C2:9C:C6:D9
③ IPアドレス	192.168.10.101
④ ネットマスク	255.255.255.0
⑤ デフォルトゲートウェイ	192.168.10.1
⑥ Firewall	UDP Port ▼
設定	

Ver.05040116

※設定を変更した際は、必ず設定ボタンを押して設定を更新してください。設定の更新には数秒かかります。
更新中には本器の電源を切らないようにしてください。設定が正しく更新されない恐れがあります。

①機能

ON/OFFから選択し、設定ボタンを押して決定してください。
「ON」：IP出力を動作させます。
「OFF」：IP出力を停止します。

②MACアドレス

本器のMACアドレスを表示します。

③IPアドレス

本器TSolP端子の受信IPアドレスを入力し、設定ボタンを押して決定してください。

④ネットマスク

本器のネットワークマスクを入力し、設定ボタンを押して決定してください。

⑤デフォルトゲートウェイ

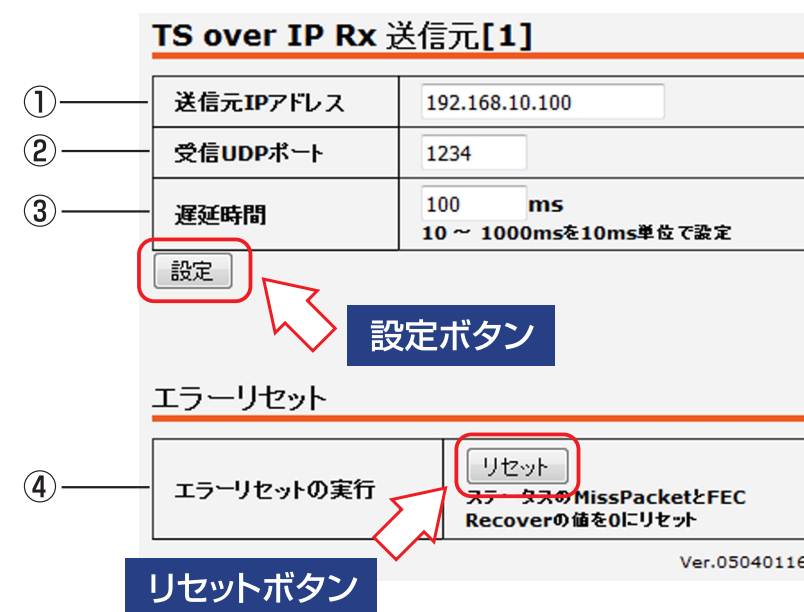
本器のデフォルトゲートウェイを入力し、設定ボタンを押して決定してください。

⑥Firewall

UDPポート、IP+UDPポートを選択し、設定ボタンを押して決定してください。

●TS over IP Rxの送信先設定について

選選択機能より「VOIP Rx」を選択し、設定メニューで「送信元」の項目を選択すると設定表示部に下図のように表示されます。送信先の設定をおこなってください。



TS over IP Rx 送信元[1]	
① 送信元IPアドレス	192.168.10.100
② 受信UDPポート	1234
③ 遅延時間	100 ms 10 ~ 1000msを10ms単位で設定
設定	
エラーリセット	
④ エラーリセットの実行	リセット ステータスのMissPacketとFEC Recoverの値を0にリセット

Ver.05040116

※設定を変更した際は、必ず設定ボタンを押して設定を更新してください。設定の更新には数秒かかります。
更新中には本器の電源を切らないようにしてください。設定が正しく更新されない恐れがあります。

①送信元IPアドレス

送信元のIPアドレスを入力し、設定ボタンを押して決定してください。

②受信UDPポート

送信先のUDPポートを入力し、設定ボタンを押して決定してください。

③遅延時間

遅延時間 (バッファリングの時間) を入力し、設定ボタンを押して決定してください。
10～1000msまで10ms刻みで設定できます。

※設定可能な最大遅延時間はビットレートにより異なります。(次ページ表1、2参照)

④エラーリセットの実行

送信元ステータスのMiss PacketとFEC Recoverの値を0にリセットするボタンです。
FECの設定の際にお使いください。